

オクラ（露地）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露 地	○ ————— // // // // // // // // // //											
主な作業		土 つ く り	基 肥 マ ル チ	は 種								

技術体系

1 作型の特徴

一般的な作型で収穫時期は7月から10月までである。

播種時期は、4月中旬に直播きを行う。

2 適応地域

平坦地域

3 栽培条件

（1）温度

高温性の作物であり、昼温25～30℃、夜温20～23℃が適温である。最低気温が10℃以下では生育が止まり落花も多くなる。地温は20～25℃が適温である。着果の程度に品種間差が大きい、30℃以上の高温下では着果が悪い。花は降霜期まで咲き、長期間収穫し続けることができる。しかし耐寒性は弱く10℃以下では生育せず降霜にあって枯死する。発芽適温も25～30℃が適温であり、20℃以下では発芽しない。マルチの使用は地温確保と乾燥防止に効果が高い。

（2）光

光の要求量は高く曇天時は花飛びにより節間が長くなる。また長日（16時間以上）となると不着果節位が増加する。

（3）土壌条件

乾燥多湿にも強く、水田転作に導入される。土質はあまり選ばないが排水が良く、耕土は深い有機質に富む肥沃な土壌で生育良好である。土壌酸度はpH6.0～6.8が適している。

4 経営目標

（1）収量 3 t / 10a

（2）投下労働時間 1350時間

（3）所得率 55%

（4）経営規模 15a

（家族労働力2人の場合）

栽培技術

1 品種と特性

「ブルースカイZ」

稜角のはっきりした極めて濃緑色のさやで、へこみの少ない正五角形。特に少突起果の発生が少なく肌が美しく高品質である。

低節位から連続して着果する性質で曲がり果の発生が少なく秀品率が高い。

ハウスから露地栽培が可能で、高温期に向かい草勢強く着色の濃淡もなく長期獲りできる。

2 本圃の準備

（1）施肥

オクラは、吸肥力が強く生育も旺盛なため、基肥の窒素が多すぎると過繁茂となり、下位節位の着果不良の原因となる。そこで、基肥を少なくして初期生育を押さえ気味にもっていくことが必要である。レタス栽培跡地では無肥料で行う。また、追肥中心とし、土づくりを重点的に行う。

施肥量 (kg / 10a)

	N	P	K	備 考
基 肥	4～7	10～14	5	
追 肥	13～20	5～10	10	
合 計	17～27	15～24	15	

（２）畦作り

ネコブセンチュウの被害が心配される圃場は、できるだけ水稲との輪作体系の中で栽培するか、土壤消毒を１ヶ月前までに終わらせておく。畑よりも水田の方がよい。冬季に堆肥、切りわら等の有機物を投入して十分耕起し、保水性と排水性の良い深い耕土を準備する。堆肥、基肥の施用後、畦立てを行う。畦の高さは排水を考え高畦にする。畦立てが終わればすぐにマルチングを行い、地温の確保に努める。

（３）播種

２条植えて畦幅１３５～１５０ｃｍ。条間３０～４０ｃｍとし株間２０～２２ｃｍの２条千鳥植えとする。

硬実種子であるため播種前に一昼夜水かぬるま湯につけておくと発芽が良くなる。欠株が多い場合は、早めに追まきするか、前もってポリポットに苗を準備しておく。

４ 播種後の管理

（１）追肥

１株当たり１～２果収穫した頃から追肥を始める。遅れると節間がつまり花蕾が集まった芯止まり状態になったりする。草姿は常に開花した花のうえに上２～３枚の展開葉を維持しながら１５日おきにチッソ成分で２～３ｋｇ前後の追肥を行う。

防風対策と保温効果を兼ねて防風ネットの設置をおこなう。

５ 摘葉

摘葉は収穫しながらそのつど行う。通風や採光を良くし、徒長を防ぎ通風や採光を良くし病害虫の発生も抑制する。また、側枝の発生と着果の促進を図り、密植栽培の弊害をなくす。極端な摘葉は生育を抑制し減収となる。

摘葉の方法は常時展開葉４～５枚を残しておこなう。草勢の強いものは収穫果の下から全部摘葉するが弱いものは収穫果下２～３枚を残す。

６ 灌水

高温、乾燥期には土壌の状態に応じて畦間かん水

を行う。

７ 側枝の利用

下位節位により、発生する側枝をできるだけ利用し主枝に準じて管理する。

８ 支柱及び誘引

作業の効率と倒伏防止のために１８０ｃｍ支柱を立て、テープ等を等を利用して行う。

９ 切り返し

原則として行わないが、行う場合は７月下旬～８月上旬にかけて作業が農繁期と重なったり株が高くなりすぎたとき等、状況に応じて切り返しを行う。

１０ 収穫

生育が順調であれば播種後６５日頃より収穫が始まる。収穫適期は９～１０ｃｍで収穫は毎日朝夕の涼しい時期に鋭利なはさみで収穫する。収穫ピーク時には朝夕の２回収穫し穫り遅れのないようにする。収穫したものは涼しい場所に保管する。